

第2次千葉市文化芸術振興計画 事業視察シート

視察者	鶴田恭子
-----	------

基本施策名	基本施策2_文化を創造する人材を「育てる」	
	(3)文化芸術活動を支える人材の育成	
事業名	音楽ファシリテーター養成講座	
実施主体	指定管理者	(公財)千葉市文化振興財団
会場	千葉市文化センター スタジオ I	
日時	令和元年11月17日(土)	

【チェックポイント】 ※以下の点に着目して評価してください。

評価指標 2 戦略的な視点・基本姿勢との適合	
(1)市民主体	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> ほぼ妥当 <input type="checkbox"/> 工夫により改善 <input type="checkbox"/> 見直し 一般市民の参加者が楽しんで活動できている。 ワークショップで学んだこと、反省したことなどを、職場や、広く社会で生かしたいと強く願っている。 殊に、千葉市に表現の場を求めているところを高く評価する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> ほぼ妥当 <input type="checkbox"/> 工夫により改善 <input type="checkbox"/> 見直し 今年度(2019年)参加者に、子供・若者はいない。昨年、高校生の受講があったと聞く。 今年度の参加者は40歳台から50歳代。 参加者が講座受講の後、活動の場と見据えている中に、子供を対象とするものが含まれていることから、評価できる。
(3)領域の広がり	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> ほぼ妥当 <input type="checkbox"/> 工夫により改善 <input type="checkbox"/> 見直し 参加者の活動の場に、ワークショップ参加者として募集する対象となる人は、子供から高齢者まで幅広い。むしろ、年齢的な制限はないといえる。 男性・女性を限定しない。肉体的な制限もない。 音楽を手段とする面から、日本人でなければならないとする必要もない。 その意味で、ユニバーサルであり、大きく評価できる。 養成講座参加者には、ファシリテーターとして活動するための若干の制限はありそうだが、障害は高くないと考える。

その他（評価すべき点・改善すべき点・気づいた点など）
<p>参加者が、養成講座終了後の活動の場を望んでいる。後押しが欲しい。</p> <p>講座参加を希望する人を増やすためには、募集方法の工夫、参加費用無料化、開催場所の変更など、考えられなくもないが、なによりも、「ファシリテーター」という概念、言葉などの定着にあるのではないかと思う。</p> <p>参加した人すべてから、音楽を通じて社会に役立ちたいという、熱い情熱を感じた。「ファシリテーター」に必要な要件の大きな部分ではないだろうか。</p> <p>応募した参加者は、幼稚園・保育所の教員、高齢者施設等施設勤務者が多く、市民生活にも有益な事業といえるのではないだろうか。</p>